

LNBF(SPL-4400 ワン・ケーブル・ソリューション)取り扱い説明書

この LNBF は H 偏波を 5.15GHz、V 偏波を 5.75GHz で同時に変換する C バンド LNBF です。
青いキャップはつけたままご使用ください。

3.7 ~ 4.2GHz の H 偏波を 5.15GHz で変換

3.7 ~ 4.2GHz の V 偏波を 5.75GHz で変換

950MHz ~ 1450MHz

1550MHz ~ 2050MHz

上のように V 偏波と H 偏波を異なる局発周波数で変換することによって、偏波切り替えの必要がなくなります。この結果、単純に分岐または分配するだけで、共同聴取のように何台かのチューナーで偏波に関係なく受信できるようになります。

F/D の調整

フィードホン部を、使用するアンテナの F/D にあわせて調整してください。Fig1 のようにスケラーリングの後端を F/D 値にあわせて六角ボルトで固定します。

取り付け角度

LNBF の取り付け角度は Fig2 を参照ください。

LNBF から反射鏡に向かってみて Fig2 の角度に取り付けてください。この状態が偏波角(SKEW)ゼロの状態です。

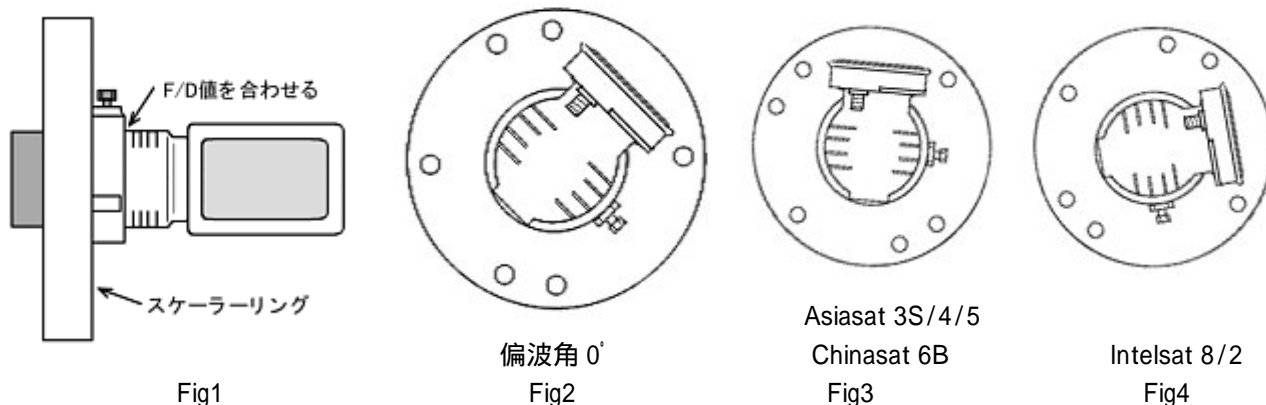
ただし目的の衛星が東西に偏っている場合は、見かけの偏波角がずれるので、左右に回して見かけの偏波角と LNBF の偏波軸とを合わせる必要があります。

ASIASAT3S/4/5, THAICOM など、西に偏った衛星は、反時計方向に 35 度ほど回します。(Fig3)逆に Intelsat2/8 のように東に偏った衛星は、時計方向に 30 度ほど回します。(Fig4)ポラマウント式アンテナの場合はこの必要はありません。アンテナが真南を向いた状態で 0° (Fig2 の状態)にしてください。

受信状態を見て、最も良いところに微調整してください。この角度(偏波角)は衛星と受信地によってまちまちです。

同軸ケーブルの接続は、絶対にスパナを使用しないでください。手で締めるだけで充分です。

接続後は自己融着テープを巻いて防水処理をしてください。



SPECIFICATIONS

INPUT		LOCAL OSCILLATOR	
INPUT FREQUENCY	3.7-4.2 GHz.	FREQUENCY	5.15/5.75 GHz
NOISE TEMPERATURE (@ 25 °C)	35 degree K max	DC POWER	
OUTPUT		POWER SUPPLY	+12 to +24V DC
OUTPUT FREQUENCY	950-1450 MHz 1550-2050MHz	REQUIRED CURRENT	260 mA max.
CONVERSION GAIN	60dB typ.		

sales-k@kontec.com
http://www.kontec.com
http://www.kontec.tv

輸入発売元 **コンテック**
430-0925 浜松市中区寺島町 324
TEL 053-458-7068